

# 車両事故対応基礎訓練を実施しました

長岡京消防署において、長岡京署救助隊及び向日署第2消防隊が、車両事故対応基礎訓練を行いました。

この訓練は、管内自動車整備工場に用意していただいた廃車両を使用し、実際に破壊訓練をすることで、各種救助資機材の取扱い及び救助技術の向上を目的に実施しました。



訓練開始前に車両構造について、説明を行いました。



強化ガラスは飛散防止のため、テープを使用し飛散防止処置を実施し破壊します。



フロントガラスは合わせガラスのため、専用の切断器具（グラスマスター）を使用して切断します。



大型油圧救助器具（スプレッダー）を使用して、開放不能となっている扉を押し拡げて開放していきます。



大型油圧救助器具（カッター）での切断状況。長岡京署の大型油圧救助器具はバッテリー駆動となっており、油圧ホース等を接続する必要がないため、迅速に活動を開始することができます。



各種資機材を使用して車両のルーフを除去します。



車両事故での救助に備えて有意義な訓練となりました、今後も様々な訓練を通して、知識技術の向上に努めていきます。